



茨城営業所（主力事業：メガEXP便）

- 本社所在地：栃木県鹿沼市茂呂
- 事業概要：一般自動車貨物運送事業
自動車運送取扱事業
- 常時使用する従業員：251名
（2025年11月時点）
- 現在の売上高：61.5億円
（2025年3月期）
- 法人番号：2060001010346
- Web：https://www.kkonpo.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
臼井 邦彦

「三方よし」の理念のもと、100億円企業を目指す意味

当社は1974年の創業以来、栃木県を中心として北関東全域に配送網を構築し、地域物流を支える事業を展開してまいりました。当社の経営理念「物流で三方よしを実現する」とは、お客様、社員、地域社会、そして共に歩む仲間が、時代の変化の中にあっても持続的に価値を生み続ける物流を目指す考え方です。人材不足や法令対応など環境変化が高まる中においても、地域物流を将来にわたり支え続けるため、当社は安定した経営基盤の構築を重視しています。売上高100億円の達成は、単なる規模拡大を目的とするものではなく、社員が安心して働き、地域から必要とされ続ける企業であるための基盤であり、次の時代へ進むための通過点であると位置付けています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年に売上高100億円を達成するため、既存事業を「質的成長」へとシフトし、高付加価値化と効率化を推進します。既存顧客との関係深化を通じて、年平均5%以上の安定的かつ持続的な利益成長の実現を目指します。また、戦略的なアライアンスやM&Aを通じて、地域・機能・人財の補完を進めます。単独成長に捉われない柔軟な連携により、事業領域の拡張と成長スピードの加速を両立してまいります。

課題

- ・人材不足及び物流2024年問題への本質的な対応
- ・安全教育の充実と、事故を起こさない輸送技術の継続的な向上
- ・収益基盤の多角化と新コア事業の確立
- ・物流DX化・業務標準化の遅れが生産性向上の制約
- ・ライフワークバランスと成長を両立できる働き方
- ・将来像を描ける人材育成・キャリア形成の仕組み

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・重量物・大型貨物に特化したメガ便拡大による収益基盤の強化
- ・M&A戦略価値観を共有できる企業と連携による持続的事業拡張
- ・高付加価値型 物流拠点（プラットフォーム）の構築
- ・既存顧客との取引深化による安定的な売上拡大
- ・次世代を担う若年人材の計画的育成
- ・多様な人材活用による労働力の安定確保
- ・同業他社連携による人材・機能の補完と物流体制の強靱化
- ・官民一体のドローン事業で新たな物流インフラの構築

実施体制

成長戦略全体については、本部機能を中核とした中央集権型の統括体制を構築します。本部が戦略立案・意思決定・進捗管理を担い、各現場は実行と改善に集中する役割分担とすることで、スピード感と再現性のある施策実行を可能にします。属人的な運営に依存せず、組織として継続的に成果を出せる体制を整えます。

売上高100億円達成に向けた成長戦略

当社は、急成長を追うのではなく、安全・品質・人財を最優先とした持続可能な成長を前提に、売上高100億円規模の企業を目指す。その実現に向け、以下の成長戦略を軸として事業を推進してまいります。

まず、重量物・大型貨物に特化したメガ便の拡大により、当社の強みを明確化し、収益性の高い事業領域での基盤強化を図る。価格競争に陥りやすい汎用輸送ではなく、専門性と対応力が求められる分野に経営資源を集中させることで、安定した利益創出体制を構築する。

次に、輸送と倉庫を一体化したロジスティクス機能の高度化を進める。輸送単体ではなく、保管・荷役・流通加工を含めた総合物流として提案力を高め、既存顧客との取引深化を図ることで、長期的かつ安定的な売上拡大に繋げてまいります。

また、単独での成長に固執せず、価値観を共有できる企業とのアライアンスやM&Aを戦略的に活用する。地域・機能・人材の補完を目的とした連携により、事業領域と対応力を拡張し、持続的な事業拡大と成長スピードの両立を実現してまいります。

人材面では、次世代を担う若年人材の計画的育成を重要施策と位置付けるとともに、外国人材や多様な働き方の活用を含め、多様な人材が安定して活躍できる労働力基盤を構築する。加えて、同業・業界パートナーとの連携により、人材・機能を相互補完し、物流体制全体の強靱化を図ってまいります。

これらの取り組みを通じて、当社は「量の拡大」ではなく、質と持続性を伴った成長を実現し、社会的責任を果たし続ける企業として売上高100億円を達成を目指してまいります。

